| 学校番号 | ３０１ |
|---|---|

# 令和２年度　保健体育科

| 教科 | 保健体育 | 科目 | 保健 | 単位数 | １単位 | 年次 | ２年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 現代高校保健体育　改訂版（大修館書店） | | | | | | |
| 副教材等 | アクティブスポーツ２０１９「総合版」　（大修館書店） | | | | | | |

## １　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生涯にわたる心身の健康の保持増進から社会の保険システム・公害についての学習をします。
私たちが暮らす社会はとても豊かですが、それでも、精神的ストレス・結婚・医薬品、また公害にかかわる問題は少なくありません。これらを取り上げ、自分自身や集団の健康を保持増進するために必要な知識や技術について学びましょう。

## ２　学習の到達目標

時代の流れのなかで、健康自体のとらえ方や健康のために人や社会に望まれることも変化してきました。個人及び社会生活における健康・安全について理解を深めるようにし、生涯を通じて自らの健康を適切に管理し、改善していく資質や能力を身につける。

## ３　学習評価(評価規準と評価方法)

| 観点 | a:関心・意欲・態度 | b:思考・判断 | c:知識・理解 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 個人や社会生活における心身の健康や安全に関心を持ち、自ら健康で安全な生活を実践するため、意欲的に学習に取り組もうとする。 | 個人生活や社会生活における心身の健康や安全に関する課題の解決を目指して、科学的に考慮し、総合的に捉えることにより、適切な意志決定を行い、選択すべき行動を適切に判断している。 | 健康・安全の意義を理解するとともに、現代社会と健康、生涯を通じる健康及び社会生活と健康について、課題の解決に役立つ基礎的な事項を理解し、知識を身に付けている。 |
| 評価方法 | ワークシート<br>実習<br>ブレインストーミング | 定期考査<br>ワークシート<br>実習<br>ブレインストーミング<br>その他成果物 | 定期考査<br>ワークシート<br>実習<br>ブレインストーミング<br>小テスト |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

| 学期 | 単元名 | 学習内容 | 主な評価の観点 | | | 単元(題材)の評価規準 | 評価方法 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| | | | a | b | c | | |
| 1学期 | 現代社会と健康 | 15. 欲求と適応機制<br>16.心身の相関とストレス<br>17. ストレスへの対処<br>18・心の健康と自己実現<br>23. 心肺蘇生法<br>24. 日常的な応急手当<br>1. 思春期と健康<br>2. 性意識と性行動の選択 | ○ | ○ | ○ | a:調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。<br>b:自身の考えを整理し、説明することができる。<br>c:知識として理解し、生涯に活かすことができる。 | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート<br>小テスト<br>実習態度 |
| 2学期 | | 3. 結婚生活と健康<br>4. 妊娠・出産と健康<br>5. 家族計画と人工妊娠中絶<br>6. 加齢と健康<br>7. 高齢者のための社会的取り組み<br>9. 医療制度とその活用<br>10. 医薬品と健康 | ○ | ○ | ○ | a:調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。<br>b:自身の考えを整理し、説明することができる。<br>c:知識として理解し、生涯に活かすことができる。 | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート<br>小テスト |
| 3学期 | | 1. 大気汚染と健康<br>2. 水質汚濁・土壌汚染と健康<br>3. 健康被害の防止と環境対策<br>5. 食品衛生活動のしくみと働き<br>6. 食品と環境の保健と私たち | ○ | ○ | ○ | a:調べたり、資料を見たり読んだりするなどの学習活動に取り組もうとする。<br>b:自身の考えを整理し、説明することができる。<br>c:知識として理解し、生涯に活かすことができる。 | 定期考査<br>ワークシート<br>ノート<br>小テスト |

※　表中の観点について　a:関心・意欲・態度　　b:思考・判断　　c:知識・理解

※　年間指導計画（例）作成上の留意点

・原則として一つの単元（題材）で全ての観点について評価することとなるが、学習内容（小単元）の各項目において特に重点的に評価を行う観点（もしくは重み付けを行う観点）について○を付けている。